

## 介護職員等処遇改善加算の「見える化」要件について

介護職員の処遇改善については、これまでも取組が行われてきましたが、2024年6月の介護報酬改定に伴い、既存の3つの加算を一つにまとめる形で新たな「処遇改善加算」が創設されました。ケアメディカルはなまきに於いても、当該加算の算定を行っております。その算定の要件として下記の内容を満たす必要がありますのでお知らせします。

### □ 介護職員等処遇改善加算の算定要件

- ① 現行の介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅳ）までの何れかを取得していること
- ② 介護職員等処遇改善加算の職場環境要件に関し、複数の取組を行っていること
- ③ 介護職員等処遇改善加算に基づく取組について、ホームページへの掲載等を通じた「見える化」を行っていること

### □ 見える化要件とは

介護職員等処遇改善加算を算定するための要件の一つです。具体的には賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を[介護サービス情報公表システム](#)や[事業者](#)のホームページを活用するなどし外部から見える形で公表することなどを指します。

### □ 職場環境要件の提示について

見える化要件に基づき、当事業所における賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組内容について別表の通り提示します。  
(別表)

#### 賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組内容

区分	内容	具体的取組
入職促進に向けた取組	<input type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	☑資格取得のサポート多様な求職ニーズに応え、無資格や未経験、他産業等の方々に求人が届くよう介護福祉専門の求人媒体だけでなく、様々な求人媒体を活用しており採用実績をあげている。
	<input type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	
	<input type="checkbox"/> 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	☑資格取得支援規定に則り受講費用の助成や研修受講が容易になるよう勤務の変更など様々な支援を実施している。 ☑人事考課時期に併せて介護主任、リーダー等によるキャリアアップを目的とした面談を年二回実施している。
	<input type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	
	<input type="checkbox"/> エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	
両立支援・多様な働き方の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	☑法人が運営する保育園を設置している。また、育児・介護休業に関する規則に則り、子の看護休暇や介護休業等が取得できるよう環境整備している。 ☑短時間勤務、非常勤勤務への変更実績あり ☑年有給休暇取得については計画的付与(年5日)や時間単位での有給休暇取得を可能とするなどし、柔軟な休暇取得に対応している。また取得状況については調査し、職員に報告している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	
	<input checked="" type="checkbox"/> 有給休暇が取得しやすい環境の整備	
	<input type="checkbox"/> 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	
腰痛を含む心身の健康管理	<input type="checkbox"/> 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	☑雇用形態に関わらず、入職時健康診断、定期健康診断、ストレスチェック等を実施している。また、各フロアに職員用の休憩室を完備している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	
	<input type="checkbox"/> 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	
	<input type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	
生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の削減	☑記録用タブレット端末、見守り機器として眠りスキャン等を導入し業務負担の軽減を図っている。 ☑ユニット毎に業務マニュアルを策定しているほか、介護ソフト活用により情報共有、記録の電子化、簡易化を図り業務負担軽減となるよう環境整備している。
	<input type="checkbox"/> 高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化	
	<input type="checkbox"/> 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	
やりがい・働きがいの醸成	<input checked="" type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	☑定例のミーティング(月例:リーダー会議、ケア会議 適宜:ユニット会議)を実施し職員の気づきをケア内容の改善に活かしている。
	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	
	<input type="checkbox"/> 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	
	<input type="checkbox"/> ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	